

糸魚川市
1人1台端末の利活用に係る計画

令和7年3月31日

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと、協働的な学びの実現に向け、子どもたちが分かりやすい授業、一人ひとりの能力や特性に応じた個別最適な学びと子ども同士が教え合い学び合う協働的な学びの姿を目指す。

2. GIGA第1期の総括

本市の小・中・特別支援学校では国のGIGAスクール構想を受け、学習系ネットワーク・無線LAN環境及び児童生徒1人1台端末の整備が進み、令和3年3月までに完了した。
今後は、整備したICT環境を活用し、主体的・対話的で深い学びを通して教育の質を向上させ、児童生徒の資質・能力を確実に伸ばしていくことが求められる。
本市の教員が授業中にICTを活用して指導する能力は全国平均並みであるものの、学校間や教員間で意識やスキルに差がみられることから、教員のICT活用指導力の更なる向上が必要である。また、校務の更なるデジタル化により業務の効率化や教育データの利活用を進めること、現在、校務系と学習系でネットワークが分離されていることにより損なわれている利便性を改善することといった環境面の整備で、現場の負担軽減を図り、教員の力を最大限に引き出すことが必要である。

3. 1人1台端末の利活用方策

前項1「1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿」を達成するため、端末の整備・更新により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持していく。
なお、整備・更新した端末は、以下のような利活用を行う。

項目	K P I	現状値⇒目標値	方策
1人1台端末の積極的活用	毎年度ICT研修を受講する教員の率	全国 ：73.0%(R4)⇒100%(R6) 糸魚川市 ：74.3%(R4)⇒100%(R6)	研修のニーズの把握 上越教育大学のJ-SOTTを活用した研修 ICT支援員との連携
	情報通信技術支援員(ICT支援員)の配置	全国 ：5.7校/人(R3)⇒4校/人(R7) 糸魚川市 ：4.5校/人(R3)⇒3.6校/人(R7)	ICT支援員配置拡充のための予算確保
	1人1台端末を週3回以上活用する学校の率	全国 ：小90.6%(R5)⇒100%(R6) 中86.5%(R5)⇒100%(R6) 糸魚川市 ：小92.4%(R5)⇒100%(R6) 中100%(R5)⇒100%(R6)	アプリ活用の推進・研修
	デジタル教科書を実践的に活用している学校	全国 ：40.5%(R4)⇒100%(R10) 糸魚川市 ：55.6%(R4)⇒100%(R10)	デジタル教科書の活用事例の共有 ICT支援員との連携
個別最適・協働的な学びの充実	児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校	全国 ：小44.9%(R5)⇒80%(R8) 中36.1%(R5)⇒80%(R8) 糸魚川市 ：小23.1%(R5)⇒80%(R8) 中50.0%(R5)⇒100%(R8)	デジタルドリル・アプリの活用 ICT活用状況調査の実施 活用状況を各校へフィードバック
	児童生徒が自分で調べる場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校	全国 ：小70.1%(R5)⇒100%(R8) 中64.9%(R5)⇒100%(R8) 糸魚川市 ：小53.9%(R5)⇒100%(R8) 中100%(R5)⇒100%(R8)	
	児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校	全国 ：小46.0%(R5)⇒80%(R8) 中44.4%(R5)⇒80%(R8) 糸魚川市 ：小15.4%(R5)⇒80%(R8) 中25.0%(R5)⇒100%(R8)	
学びの保障	希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加・視聴の機会を提供している学校	全国 ：今後把握⇒100%(R8) 糸魚川市 ：今後把握⇒100%(R8)	ICT活用状況調査の実施 心の健康観察アプリの導入 端末活用事例の共有
	希望する児童生徒への端末を活用した教育相談を実施している学校	全国 ：今後把握⇒100%(R8) 糸魚川市 ：今後把握⇒100%(R8)	
	障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じて端末を活用した支援を実施している学校	全国 ：今後把握⇒100%(R8) 糸魚川市 ：今後把握⇒100%(R8)	